

冬期バリアフリーとは

雪国では、積雪によって歩道の幅員が減少したり、凍結によって転倒しやすくなるなど、冬期特有のバリア(障壁)が存在します。これを「冬期バリア」と呼ぶこととし、除雪の充実、消雪施設やアーケードの整備などを行うことにより、冬期特有のバリアの解消を図ることを冬期バリアフリーといいます。

計画の目的

冬期バリアフリー計画は、冬期特有のバリアに対し、重点整備地区を設定し、重点的・総合的な整備を進めるための計画です。

計画では、人が多く集まる中心市街地や交通結節点、主要な公共施設等があり、安全で快適な歩行空間の確保が必要な地区を重点整備地区と設定し、消雪施設やアーケード等の整備によって冬期のネットワーク化された歩行者空間を確保するものです。さらに、市民と行政における協働型の除雪対策の推進についても検討するものです。

計画策定にあたり

計画策定にあたり、国・県・市の行政が一体となって雪対策について検討するために「金沢市冬期バリアフリー計画策定委員会」を設け、協議・検討を行いました。委員会には、学識経験者、市民団体や障害者団体の代表者、交通事業者も参加し、さまざまな立場から頂いたご意見を計画書に取り入れました。

事業の進め方

計画路線に指定された路線については、国・県・市の行政が積極的に事業を進めます。それ以外の路線については、基本的には、市民が主体的に除雪活動を行っていくこととし、これを行政が支援することにより、市民と行政の協働によるシステムの形成を図っていきます。

<お問い合わせ先>

■国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所調査第二課

〒920-8800 金沢市西念4丁目23番5号 TEL. 076-264-8800

フリーダイヤル **0120-106-497** (道の相談室)

URL. <http://www.hrr.mlit.go.jp/road/soudan/index.html>

■石川県土木部道路整備課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL. 076-225-1730

URL. <http://www.pref.ishikawa.jp/michi/soudan/index.htm>

■金沢市土木部道路建設課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL. 076-220-2316

E-mail. douro@city.kanazawa.ishikawa.jp

平成16年3月

R100
古紙配合率100%再生紙を
使用しています



金沢市冬期バリアフリー計画

歩いてみまっし 金沢みちすじ雪景色



...ね金沢

金沢市冬期バリアフリー計画



重点整備地区および整備計画

金沢市冬期バリアフリー計画では、交通バリアフリー基本構想の重点整備地区と整合をとりながら、公共交通の主要な結節点であるJR金沢駅および、香林坊、武蔵ヶ辻バス停を中心とする概ね半径1kmで囲まれた地区に、副都心地区（県庁周辺）および、主要な病院（金沢大学附属病院、県立中央病院）までの路線を加えた、面積約630haのエリアを重点整備地区と設定しました。

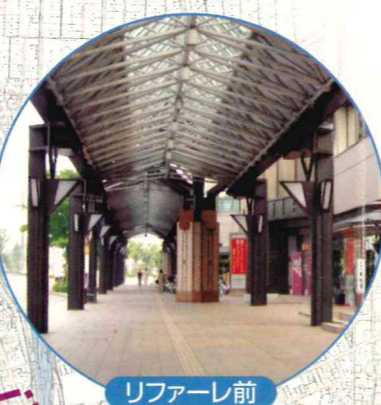
凡例	
区域	冬期バリアフリー重点整備地区
整備内容	無散水消雪
	散水消雪
	アーケード
	地下道
	歩道(機械)除雪
	歩道(人力)除雪
車道	散水消雪
	車道(機械)除雪
整備時期	整備済み
	短期計画
	中期計画
	長期計画
施設等	鉄道駅
	バス停
	主要公共施設等
	病院・福祉施設等
	小中高等学校施設
	観光施設等
	商店街・振興会等

※短期は概ね3年、中期は概ね5年、長期は5～10年



用語	解説	
歩道	無散水消雪	歩道路面に散水せず、舗装面の下に埋設した循環パイプや発熱体により路面を温めて雪を融かす消雪施設。(例:ロードヒーティング等)
	散水消雪	道路に埋設した送水管とノズルを通して、歩道路面に水を巻く消雪施設。(例:消雪パイプ等)
	アーケード	商店街や道路などの歩行空間の上部に、雪や雨を防ぐ屋根をつけた施設。
	地下道	地下に設けた通路。
	除雪(機械)	歩道に積もった雪を搭乗式の小形除雪車やハンドガイド式の小形除雪機で行う除雪。
車道	除雪(人力)	歩道に積もった雪を地域住民が人力で行う除雪。
	散水消雪	道路に埋設した送水管とノズルを通して、車道路面に水を巻く消雪施設。(例:消雪パイプ等)
	除雪(機械)	車道の路面上に積もった雪が交通障害になる前に、除雪車等により、路側又は路外に除雪を行うこと。

※歩行空間が縁石等によって明確に分離されていない道路をここでは、「車道」という。



整備の基本方針

重点整備地区では、冬期における安全で快適な歩行空間の確保により、冬景色の美しい金沢らしさを歩いて感じることでできるまちづくりを目指します。

1 年間を通じて安全で快適に歩けるまちづくり

冬期においても安全で快適な歩行空間を確保するための整備を進めます。

- 冬期にも配慮したバリアフリー整備（幅広歩道、横断・縦断勾配の緩和、段差解消、滑りにくい舗装材の整備等）
- 環境に配慮した歩道消雪施設の整備
- アーケードや上屋等、全天候型施設の整備
- 冬期も楽しんで散策できる道筋整備

2 冬期歩行者動線の連続性確保

快適な歩行者ネットワークの構築を目指し、歩行者が特に多い歩道の整備を重点的に進めます。

- 金沢の都市構造の骨格である都心軸を中心とするネットワーク整備
- 歩行者が特に多い歩道での重点整備
- 既存施設を効率的に活用した整備
- ネットワーク不連続箇所のポイント整備
- 交差点、バス停などのポイント整備

3 市民と行政の協働

市民と行政が適切な役割分担を行い、市民協力により歩行空間の確保を図ります。

- 歩道除雪体制の充実
- 行政の住民除雪に対する支援
- 協働型システムのモデル的な取り組み

